

上院文書#264



現在のアメリカ人は土壌の枯渇によりミネラルのアンバランスをもたらし、食の栄養不足に悩まされていることをご存知でしょうか？

警告すべきことは、今何百万エーカーの土地が既に必要なミネラルを十分含んでいない為、いくら多くの果物、野菜や穀物を食べても必要なものを摂取できないことです！

貴方は、滋養という観点からする限り、人参は人参だと考えていないだろうか？残念ながら違います。

一つの人参は他の人参と見た目も味も同じように見えるかもしれませんが、我々の体のシステムが必要とする必須ミネラル(本来は含有してはならないのです)が不足しているということです。

研究所のテスト結果で判明したことです、果物、野菜、穀物、卵そして今日のミルク及び肉でさえ、何世代前のものとは異なっているのです。(このことは、我々の先祖が我々が今栄養不足にされている物を食べて、しっかりと成長していることでも明白ではないか！)

現代の人間は完全なる健康体を維持する為に必要なミネラルを含んだ十分な果物や野菜を摂ることが出来ません。

何故ならば、必要なミネラルを摂る為の大きな胃袋は持ち合わせていません！

もはやバランスのとれた十分滋養のある食事ではなく、単にある種の高カロリービタミン

ンか含有率が決まっている澱粉、タンパク質、そして炭水化物でしかないのです。今や、バランスのある十分栄養素を含んだものでなくてはならないことが分かりました。それに加えて、ミネラル塩のようなものも含めて。

アメリカ人の 99%がミネラル不足になっていることと更に重要なミネラル不足が病気を引き起こしているということがアメリカの権威のある機関から知らされたことは残念である。

体にとって、微細でも必要なものがなければ、我々は病気になり、苦しめられ、命を縮めることになる。

この発見は最も新しくそして重要な人類の健康の問題に対する科学的な貢献である

ビタミンは化学的な合成物であり栄養物としては欠くことの出来ないものであり、それぞれのビタミンは体のいくつかの特別な構造の恒常機能の為に重要です。疾患や病気はビタミン欠乏から生ずるのです。

”但し一般的に知られていないのですが、ビタミンはミネラルの充当しているところに働き、ミネラルがなければ機能しないのです。ビタミン不足になると体の機能はミネラルを使用することが出来ますが、ミネラル不足の場合は、ビタミンは役に立ちません。”

”真実は、我々の食べ物は価値的に非常に幅広くて、中には食べるに値しないものもあるのです。”

食事にミネラルを使用しての実験テスト

10 年間に亘り、カルシウムを与えないでテストしたところ、適度に与えたねずみに比べて体のサイズを 1/3 にすることが出来ました。知恵もミネラルで同じようにコントロールすることが出来、サイズ、骨の構造そして全体的な健康もコントロールできました。

数匹のねずみのうち、一匹のねずみにある種 of ミネラルを与えないで迷路に入れてみます。

するとミネラルを与えられなかったねずみは出口を見つけることは出来ず、一方他のねずみはさして問題なく又全然問題無く出口を見つけ出ます。彼らの性癖はミネラルのえさを与えることで変えられます。

喧嘩早くなり戦闘的になります。

更に、共食いをするようになりそしてお互いにむしゃぶり食うのです。

一方カゴに入った普通のねずみは、仲良くしています。

そしてカルシウムを与えないと、イライラしてお互い離れていきます。

そして争い始めます。

再び、カルシウムのバランスを戻してやると、さっきよりも仲良しになり、しばらくすると、前のように一緒にかたまり寄り添い寝るようになります。

沢山の知恵の遅れた子供達は単に”無感覚”なのです。

なぜならマグネシウム不足なのです。

我々はちゃんと食事を与えてやらないことに恥じなくてはなりません。

確かに、我々の肉体的な健康は、より直接的にミネラルに頼っており、機能システムもカロリーやビタミンよりも又消費する適切な量の澱粉、タンパク質や炭水化物よりもミネラルに頼っているのである。

今のところ、少なくとも 16 種類のミネラルが通常の栄養として欠くことの出来ないものとして、認知されています。

更に数種類は少ない量ですが、本来体の中にあることも見つかっておりますが、正確な生理上の役割は未だ判っておりません。

11 種類の欠くことの出来ないミネラルのうち、ナトリウム、カルシウム、リン、そして鉄がおそらく最も重要なものです。

ここにひとつの特筆すべき例があります。

中西部の市のまわりにある土壌がカルシウム不足の状態なのです。この地域の 300 人の子供達が健康検査を受けたところ、約 90%が歯が悪く、69%が鼻と喉を痛めており、腫れあがった腺、大きくなったり、病気になった扁桃腺が見つかりました。

1/3 以上の子供達が視覚障害、猫背、O 脚 や貧血を患っておりました。

このようにそれぞれのミネラルは栄養素のなかではっきりとした役割を担っているわ

けです。

ビタミンの欠乏による病弊、兆候の特徴はミネラルの不足からくるのです。

このような訳で、健康を与えてくれる貴重な代替物を摂り入れることを切望し、ここに警告として、事実関係に立ち向かわなくては！！

不作地は不作の作物、病弊した動物、病弊した人々を意味するのです。

肉体的、精神的そして倫理的な適合性はその多くを、十分なかつ適正な食物に含まれるミネラルに依存しているのです。

神経の機能性、神経の安定性、同じように神経を創り出す基の部分も同じくミネラルに頼っております。

ノーザン博士は次ぎのように述べております。

”深刻なミネラル欠乏症に陥っている土壌は我々が必要とするに匹敵する作物生命を生み出すことは出来ませんし、連作や栄養物の垂れ流しなど、その状況は益々悪化の状況へと突き進んでいるのです。

”ある有名な栄養学の権威者は最近次ぎのように述べております、”アメリカ人の病気感染しやすい体質に幕を下ろすある一つの確実な方法はバランスのとれた鉄、銅、及び他の金属類を食べ物を通して供給することです。

適切で十分過ぎる程の必要なミネラルを持った食事を供給された器官はどんな現在の免疫処置で人工的に創り出されたものよりはるか、感染症からの免疫を造り出すことに関して、これらの要素を十分活用するのです。

パテントを有する薬を使用することによっては欠乏症を取り戻す手立ては出来ないのです。”

※総括

アメリカでは既に 1936 年に上院文書として警告を発していることには、頭が下がります。

1992 年のアースサミットレポートでその事が 50 年後にはっきりしました。

ちなみに今や癌になる確率もアメリカでは以前より下がっているそうです。

食の安全と食育がここに来て、話題になっていますが、我々は、自分で自分を守る、病気にならないようにする (self-medication) 考え方が今や必要ではないでしょうか。